

一般社団法人ロボカップジュニア・ジャパン  
平成27年度第6回理事会議事録

1. 日 時 : 2015年11月7日(土) 13:00~17:00

2. 場 所 : 大阪市北区豊崎3-20-1インターグループビル 6F会議室

3. 出席者

(1) 本人出席者 6名

高橋友一、今井俊二、北原達正、島谷太、中島晃芳、平光宗基

(2) 委任状提出者 5名

松原仁、野村泰朗、丹羽尚子、金田忠裕(監事)、前田正久(事務局長)

(3) 理事以外出席者 3名

蟬正敏(監事)、浅沼まり(事務局)、藤村晶子(事務局)

4. 議 事

報告事項

1. 2015年会員について、27年予算執行状況
2. ブロック・ノード大会スケジュール
3. 2016ジャパンオープンの開催委員会報告

審議事項

1. 理事担務
2. HPの公開仕様(MLの管理、ドメインの管理)
3. 2017世界大会  
世界大会年齢、チームメンバー数と国内ルール(メール審議報告)  
LOC候補者案など
4. 議事録署名人の選定
5. その他

5. 資 料

資料1. 会員総数、第2期予算表

資料2. ブロック情報調査リスト、地区分けリスト

資料3. ジャパンオープン関連資料

- ・ジャパンオープン開催委員会資料
- ・会場レイアウト
- ・ジャパンオープン確認事項(水野先生から)
- ・ジャパンオープン年齢人数制限についての意見(各ブロックから)

資料4. 理事担務表

資料5. 世界大会(ダンス)に関するメール

資料6. メンターの定義についてメール

6. 議事概要

(1) 議長の選出

①高橋代表理事が開会を宣言し、本総会は、定款第18条の規定を満足しており、成立していることを報告した。

(2) 2015年会員、27年予算執行状況について

①資料1に基づき、浅沼事務局員より2015年会員総数及び27年予算執行状況について報告がな

された。今年度会員総数は昨年を上回る結果となった。予算については未執行のものを含め、HP見直し・2015年会報作成は年内に執行するものとし、具体的な内容を話し合った。

(3) ブロック・ノード大会スケジュールについて

①平光理事より、資料2に基づき、ブロック・ノード大会スケジュールについて報告がなされた。大会日程未報告のブロックには早急な報告を促すこと、および資料2に訂正箇所があれば11月14日までに申し出てもらうこととした。あわせて、10月末時点で正会員になっていないブロック長、技術委員長には正会員登録を依頼することになった。

(4) 2016ジャパンオープン開催委員会の報告について

①資料3に基づき、高橋代表理事より、開催委員会の内容及び会場レイアウトの報告がなされ、各チームのレジストレーション、海外チームへのインビテーションレター等は各事務局にて行う事と、ジャパンオープン愛知のホテル幹旋に関して実行委員会とは別にジュニアジャパンでも旅行会社を幹旋することになった旨の報告があった。また水野ジャパンオープン愛知実行委員長からの確認事項については、以下の通り回答することとなった。

ア) 競技担当中島理事から各技術委員長に会場図面を確認してもらい、各チャレンジにどのリーグを開催するか、どのくらいのチーム数が参加できるか、タイムスケジュール等を確認し、コートレイアウトについて11月末を目処に水野実行委員長と調整することとなった。また、理事会は3月25日夜、総会は26日夕方、ジュニアパーティーは26日17:30-18:30に開催する方向で、調整することとなった。また、ジャパンオープン参加者への周知として、参加受付(入金を含む)は2016年2月上旬から3月4日(金)とするなど開催要項を中島理事が作成し、水野実行委員長と調整の上、開催内容に関するエントリー受付用HP(ジャパンオープン愛知委員長名で)は、11/14までにRCJJのHPに今井理事が用意することになった。

イ) 高橋代表理事から、スタッフ確保について、今期(12月末まで)事業として、例えば東海ブロック主催で愛知工業大学にて審判講習会を実施、講師にはJST旅費規定に従った謝金をRCJJよりお支払する等、のブロック単位での審判講習会の提案があり、開催申請書の受付、理事会にて承認後、開催してもらうことを決定した。講習受講者には受講証を発行し、ジャパンオープンでは受講者と非受講者の区別をつけることを提案することとした。

ウ) 年齢制限については、ジャパンオープンは従来通り、上限は2016年7月1日現在で19歳以下であることとする。2016年7月1日現在でメンバー全員が14歳以下の場合はプライマリ、15歳から19歳まではセカンダリとする。2016年ドイツ世界大会で、仮にプライマリとセカンダリの区別がなくなった場合、セカンダリのチームを推薦することとする。また、ブロックからの推薦を受けジャパンオープンにエントリーを行う場合、ノード・ブロックの出場した区分には拘束されず、セカンダリへ変更することも可能とすることを、中島理事から各ブロック長・技術委員長へ周知することとした。また実行委員長が参加チーム数を確定した後、2月14日には技術委員長が各ブロックへの出場チーム数の割当を決定することを確認した。

エ) 高性能電池使用について、ジュニアリーグの全チャレンジにおいて会場の安全性確保を最優先し、以下の通りとすることとし、中島理事より各ブロック長・技術委員長に周知することとした。

①リチウムポリマー電池(Li-Po)の持込・充電・使用を禁止とする。

②LEGO Mindstormsのような、安全装置を始めから搭載している製品は対象外とする。

(5) 理事担務について

①高橋代表理事より、前回理事会で検討した理事担務の内容に異論がないか否か最終確認がとられ、資料4の通り実施していくこととなった。

会員サービス担当の島谷、今井理事から会報と年報について説明があり、2014会報については3月の尼崎大会、7月の合肥世界大会を中心に12月までに作成する旨の報告があった。

(6) HPの公開仕様について

①広報担当今井理事より、新しいHPの仕様について説明がなされ、新しいHPは情報発信と会員とジャパンオープン登録管理を一元化できるよう検討することとし、11末日までに北原理事が計画書及び予算案を提出し、理事会にて審議の上、作成に着手することになった。ジャパンオープン愛知の参加申し込みが始まる2月より運用する予定とし、運用の関わる費用は来期の予算でメール審議の上、代表理事の裁量(100万円)内で処理することになった。

(7) 2017世界大会ダンスチャレンジについて

①理事会の意向として、ジャパンオープンダンスチャレンジで選出されたチームが2016世界大会のOn Stageに推薦されるものとし、2016公式ルールが発表された時点で選抜されたチームが対応できる程度の変更がどうかを、選抜チーム及び技術委員会で検討し、対応することとなった。

(8) その他

①(4)の議題でも挙げた審判講習会を実施するにあたり、各チャレンジ毎に講習会資料を作成する必要があると、高橋代表理事より提案がなされた。各チャレンジ技術委員長から資料作成の申請を受け、理事会で承認の上、12月末までに事務局へ納品してもらうよう依頼することとした。資料作成者へは謝金(源泉徴収額を含め10万円を上限)を支払うこととする。尚この資料はRCJJに帰属するものとし、この件に関しては、中島理事より各チャレンジ技術委員長に周知することとした。

②高橋代表理事より、ジャパンオープン開催地公募について、2017年開催地が未定のため、引き続き公募を行う旨報告がなされた。

③高橋代表理事より、旅費規定について、旅費支払は本来の居住地もしくは勤務地からの支払いとすること、現在JSTへ提出している旅費及び謝金の支払規定(2014.3.21)に則り、航空機利用の場合は搭乗券の半券の提出を必須とすることを確認した。また今後は新しく旅費規定案を作成することとなった。

④高橋代表理事より、2016年ジャパンオープン、2017年世界大会を見据え、前回理事会で水野氏・竹間氏をワーキンググループメンバーに指名したことから、理事会MLに加えるよう、今井理事に依頼を行った。

⑤中島理事より、資料6に基づき、メンターの定義について説明がなされ、大会開催時18歳以上であること、競技者とメンターは兼任できない等、トラブル発生時に対応でき、チームに責任を持てることを前提とすることで合意した。

⑥次回理事会は2月14日(日)13:00-16:00に開催することとなった。

(9) 議事録署名人の選任

閉会にあたって議長から、本日の議事録署名人として、北原達正氏、及び中島晃芳氏にお願いすることとなった。

以上、この議事録が正確であることを証します。

平成27年11月7日

議長 高橋 友一

議事録署名人 北原 達正

同 中島 晃芳

